

今回の瓦版は、会員以外の世帯にも配布させていただいています！

* 瓦版は、3月・7月・11月の年3回の発行です。

* 本瓦版(pdfファイル)は、連携ホムペ「富田林寺内町の探訪」からダウンロードすることもできます。

第57号 発行・編集：富田林寺内町をまもり・そだてる会/じないまち交流館 富田林市富田林町9-29(じないまち交流館) 平成26年03月27日 (1)



寺内町

瓦版/57号

題字 / 奥野 詞水さん 9歳(東林町)

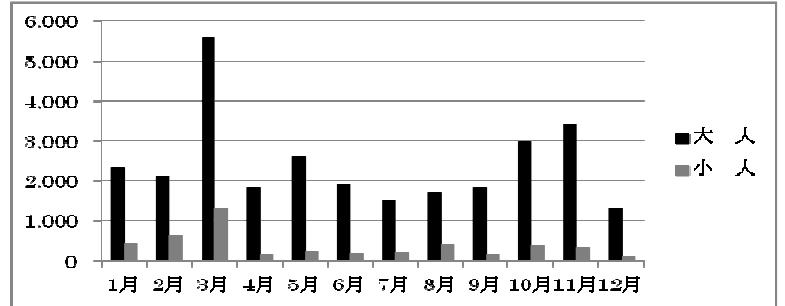
JINAIMACHI KAWARABAN Vol. 57



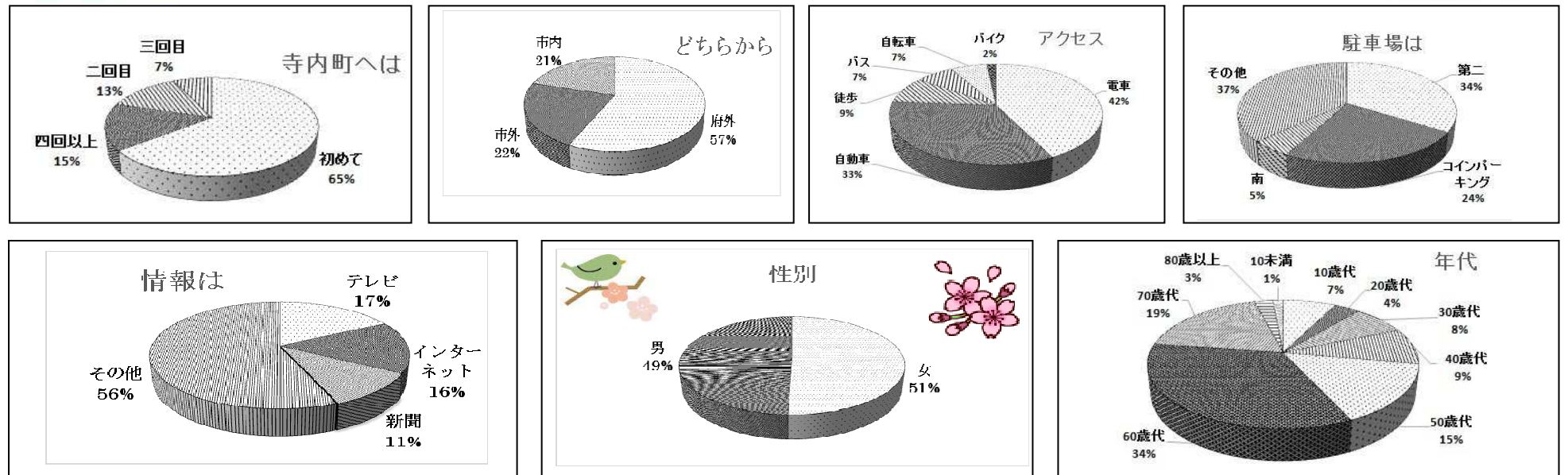
第7回じないまち交流館来館者アンケート

平成25年交流館入館者数

★アンケート調査方法★
 期間：平成25年1月8日～平成25年12月27日
 回答方法：選択式6問、自由意見1問について、じないまち交流館に設置してある所定のアンケート用紙に記入し、回収箱に投函してもらう。
 回答数：388人 《(参考)平成24年：175人》
 総入館者数：33,787人 《(参考)平成24年：28,214人》
 (入館者数が多い3月は雛めぐりのイベントが行われた月です。)



平成25年1月～12月の来館者アンケート集計結果



☆ご意見・ご感想

- 【10歳未満】
 - ひな人形きれいだった。
 - 昔のかんじがあつてとってもたのしいです。きゅうけいできてとってもいいです。
- 【10歳代】
 - 古い家がたくさんあって、昔の家のしくみが分かったので、よかったです。空気も私の家のより、気持ちがよかったですし、楽しかったです。
 - しずかな所でのんびり歩いて、たのしかった。休憩する所やトイレもあったからうれしかった。
- 【20歳代】
 - 来てよかったですと感じられる町でした。町全体が歴史を感じさせてくれること。子供達がのびのびと遊んでいること。自然と調和した町であること。今回は1人でしたが次回は誰かを連れてきます。いつまでも素敵なじないまちであってください。
 - ステキな町並でした。お店が増えることを期待しています。
- 【30歳代】
 - 旧田中家の改修について、電気コンセントの配置や耐震張り間を利用した明かり取り、屋根の明り取り等、随所に気遣いのあとがあり非常に参考になりました。インターネットで拝見させていただいた以上に風情あり、都会の喧騒を忘れさせ、気持ちゆったりと寺内町の歴史に触れることが出来て、良い休日になりました。有難うございました。今のままの風情をずっと守り続けて下さい。
 - 交流館の建物のにおいが好きです。障害者用のトイレが広いのでベビーカーごと入って利用でき、何度も助かりました。
 - 今日はあじさいを見に来ました。古い町並みとあじさい。とても素敵でした。また着たいと思いました。
- 【40歳代】
 - 雑誌で見て興味があったので今回来て良かったです。ビデオの説明を見てとてもよく分かりました。
 - 静かで人も親切でとてもいい町でした。また来たいと思います。
 - あいさつや声をかけてもらえるとホッとします。
 - 説明を丁寧にいただき、また日傘を貸していただいたりと、とても親切にいただきました。町の雰囲気もよいですが、交流館の方々の優しさに接して、また来てみたい、人に勤めてみたいと思いました。ありがとうございました。
 - 町の歴史をもう少し専門的に知ることができる資料館があれば良いと思います。
 - 地図を片手に歩いてかなり道に迷いました。いま、どこの筋を歩いているのか全くわかりませんでした。東西南北、筋の名前等、細かく道案内を標示してほしいです。
- 【50歳代】
 - 交流館のビデオはよくわかり良かったです。町の方たちの努力と連帯感が伝わり、保存されていく大変さもうかがえました。
 - 金剛山下山後に立ち寄りしました。駅前でいい飲食店を探しましたがなく、地元の人にいい食べ

- 物屋はないか、と聞いてもこの辺りにはないと言われました。たまたまそば屋さんの看板を見つけここにきました。地元の人ですら「寺内町エリアに行ったら〇〇がありますよ」とは言ってくれないとは、浸透していないのかなと思いました。町の雰囲気はとてもよいのもったいないですね。
- もっと分かり易い地図(施設とお店が一緒で紹介されている地図)が欲しい。
- 【60歳代】
 - ボランティアガイドさんの案内が大変良く、楽しい一時をありがとうございました。
 - 親鸞様のお流れがあることを、もっと宣伝してほしい。私自身本願寺派門徒であるが、今の今まで興正寺を知らなかった。
 - 3年前のひな祭りのときにきました。店屋などが増えているのにびっくり。これからも町並みを保存してください。江戸後期から明治初期の建物見学は楽しいです。
 - ゆっくり歩きたいと思ってきたのに、自転車のおばちゃんに「邪魔や」と言われ最初の印象が悪かった。マナーを向上させてください。
 - 朝のテレビで案内されており、この町並をぜひ見たく、主人と出かけてきました。白壁と瓦屋根の美しい町に静かに流れる歴史を感じました。本当に来てよかったです。
 - 町全体が落ち着いた町並みに、ゴミ一つなく昔にタイムスリップしたようです。沢山写真を写しました。休憩所も沢山ありゆっくり楽しみました。ありがとうございました。
 - 生まれ育った田舎の情景と照らし合わせる感動と趣となつかしさが感じられることが出来、来てよかったですと思いました。
 - 交流館の館内の明るさがもう少し明るい方が読みやすいです。
 - ガイドさんの案内が細やかで自分の町が好きの方の説明でとても嬉しく思いました。また訪れたいと思います。今度は石川の方も散策してみよう。
- 【70歳代】
 - 寺内町魅力あります。駐車場探しに難儀しました。どこかに案内表示がほしいです。
 - 日曜日、祝日にレンタサイクルがお休みなのは、おかしいのでは？
 - 町がきれい楽しく散策できた。ガイドさんは知識豊富で沢山お話を聞かせて頂きありがとうございました。
 - 住居公開。1～2軒でよいので重伝建の住宅内部を公開してみてもいいのでは？
 - テレビ、新聞などで見て居たので、一度友人と訪れたいと思って来ました。歴史や文化にふれて楽しい一日を過ごしました。
 - 寺内町のよき歴史の町並みをいつまでも大切に、皆で町の振興に力をいれたいと思っています。ますますの発展に期待しています。
 - ビデオがあり寺内町の歴史・内容を知るのに役立った。音声が時々聞きにくくなり少し残念でした。
 - 歩き回って疲れた時にゆっくり座ることのできる場所がもっと欲しい。
- 【80歳代】
 - ありがとうございます。今回二回目、楽しんで拝見してもらいました。出店も多くありこれも目の保養になり、楽しかったです。子供さんの着物があちこちで見られ、これも雛祭りらしいよい雰囲気をつくっていました。交流館があって休憩ができ、ありがたかった。コーヒー、ほっとしました。

富田林寺内町 来訪者 歓迎キャンペーン

こんにちは！ 笑顔であいさつ 歓迎を

まもり・そだてる会活動報告

| 月 | 日 | 会議名等 | 内容 | 場所 |
|----|----|--------|---|-----|
| 11 | 12 | 理事研修会 | ・滋賀県東近江市五個荘金堂地区 | 五個荘 |
| 12 | 3 | 企画事業部会 | ・鍋めぐり実施要領策定 ・燈路/月見/後の雛の総括、会計報告 | 交流館 |
| | 5 | 役員会 | ・各部会報告・初鍋要領・20周年準備報告 | 交流館 |
| 1 | 8 | 役員会 | ・各部会報告・20周年記念事業準備報告 | 交流館 |
| | 22 | 理事会 | ・各部会報告・指定管理者決定 ・20周年記念事業準備委員会報告 | 交流館 |
| 2 | 4 | 企画事業部会 | ・初鍋めぐり収支報告 ・雛めぐり(道案内とコーヒー販売分担) | 交流館 |
| | 7 | 役員会 | ・各部会報告 ・雛めぐり(道案内とコーヒー販売分担) ・20周年記念事業準備委員会報告 | 交流館 |
| 3 | 28 | 広報部会 | ・瓦版57号確認・瓦版58号原稿分担 | 交流館 |
| | 3 | 役員会 | ・各部会報告(特に、雛めぐり) ・20周年記念事業予算について ・理事会・総会日程 | 交流館 |

まもり・そだてる会 理事研修会へ東近江市 五個荘へ

平成二十五年十一月十二日(火)参加者十四人で近江商人発祥の地五個荘を訪れた。その地にて町の空気を感じながら想像してみた。

江戸時代後期から明治にかけて、天秤棒一本を肩に担いで各地をまわり、訪れる先々でのニーズに応えながら、五個荘の商人達は高いを売って、買手世間という『売り手よし・買手よし』の世間によし』の三方よしの理念のもと、持ち下り商いとされる商法で、やがて成功した商人達が、本宅として建てた大邸宅群は、船底を再利用した丈夫な板塀と白壁の土蔵が印象的である。そしてそれらを囲むように走る水路は、灌漑用水としてだけでなく、屋敷内に引き込まれ、生活用水としても利用されている。江戸時代の寺院や、この地を飛地支配していた大和郡山藩の軒屋、町の外側の農家の集落と水田の景観をも含む地区。古代条里制の町割りを残す農村集落全体が五個荘金堂の重伝建地区である。ゆつたりとした静かな空気感。この町は、近江八幡などの大きな観光地にも近く、同じような重厚な存在感を持っている。にもかかわらず、住民の思いは「来訪者がほっとできる癒しの町でありたい」というものであり、そのためには、町づくりの主体は住民でなければならず、現在のその観点での取り組みが行われているとの事だった。地区の建物の修理など、保存に関する相談を、市から委託された保存会が受けている。



五個荘の近江商人屋敷

次世代への伝承としては、子供達が町を探索するなどが、町づくりに参加できる催しなどが、住民参加型で活発に行われているとの事だった。重ねてきた歴史や、とりまく事情は違っても、そこに暮らす人々の町を愛する思いは、どこも同じだと感じ、様々な取り組みは、きっと今後活かされていくのだろうと思った。

十一月半ばの冷たい雨と重たい空のせいもあってか、五個荘金堂は、とても郷愁を感じさせる町だった。立ち並ぶ屋敷は、周囲の板塀と白壁が続き、錦鯉が泳ぐ水路は、町を縦横無尽に流れている。通りの辻は時折三叉路になり、行く人の見通しを妨げる。まるで迷路だ。と言ったのは私ではないが、今もその言葉が頭から離れない。各地の古い町並を訪ねるとき、それは自分の住む町の魅力を再認識して終わることが多いのだが、ここは、いつかもう一度ゆっくり歩いてみたい町として記憶に残ることになった。(新道町 中野 結)



（企画事業部会）

『寺内町四季物語二〇一四「冬」第六回 鍋めぐり』報告

「ぼたん鍋が「ベストオブ鍋」五年連続一位達成！」

今年の「鍋めぐり」(主催：四季物語実行委員会)は十一月十一日(土)に開催され、寺内町には約二、三〇〇人(主催者発表)の来訪者がありました。昨年より少し減少しましたが、当会では、例年どおり、皆さんに楽しんで待って頂いている「ぼたん鍋(猪汁)」の販売を企画しました。

今年も猪肉の確保が難しくなり大変苦勞しましたが、幸い八町茶屋さんのお世話で何とか確保することができました。又前日から交流館の職員さんには仕込み等をして頂き大変お世話になりました。十時に販売を開始し十四時半には完売しました。

今回の肉質は、従来の地元産からカナダ産に変わりましたが、お味の方は如何でしたか。

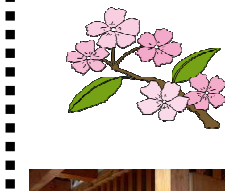
皆さんのおかげで、多くの方々に喜んで頂きました。ご支援・ご協力ありがとうございました。

『寺内町四季物語二〇一四「春」第八回 雛めぐり』報告

今年の「雛めぐり」(主催：四季物語実行委員会)は三月八日(土)、九日(日)に開催され、寺内町には二日間約九、七〇〇人(主催者発表)の人数があり大変賑わいました。

今回は当会としては、いつも来訪者の方々が当日マップを持って迷っておられる姿が多く見受けられることや当会理事のユニホームも揃えたこともあり、「富田林寺内町のおもてなしの心」を発揮しようと、九ヶ所で町角に立つ「道案内」を企画し参画しました。

一方、交流館では例年どおり「じないまちカフェ」も開催しました。



じないまち交流館 新職員紹介

この度、交流館の職員としてお仕事をさせていただくことになりました。こちらに来て二ヶ月半たちましたが、まだまだ勉強して行かないといけないと思います。来訪の皆様方のご期待に沿えるように頑張りますので、よろしくお願いたします。

☆交流館だより☆

◎ギャラリー展示予定

- 四月一日〜十三日 堀とぎ枝 陶器展
- 四月十五日〜二十日 ロベリア絵画グループ 絵画展
- 五月一日〜十五日 松田全弘 写真展
- 五月十六日〜三十一日 千嶋満雄 豆菘栽培展
- 六月一日〜十五日 陽だまりの会 水彩・陶器・和布物展
- 六月十七日〜十九日 老犬こせの会 写真展
- 七月一日〜三十一日 平木佳代子 書写作品展

イベントについて

まもり・そだてる会は、H6年7月に設立されました(H26年度は設立20周年です)。

当企画事業部会で取組んできたイベントとしては、設立当初から「寺内町清掃」に取組み、H16年の10周年記念事業で燈路等のイベントが開催されて以降、翌年からは「寺内町燈路」(当初は城之門筋燈路)も継続して開催してきました。

H20年度には、寺内町を含む駅南地区の整備のため、「富田林駅南地区まちづくり協議会」が設立され、「寺内町燈路」も含め、協議会が主催して、春・夏・秋・冬に「寺内町四季物語」のイベントとして開催されるようになり、当会もそれに参画してきました(同協議会は、H25年度からは「四季物語実行委員会」に改称)。

H24年度からは、「寺内町清掃」を富田林町総代会にバトンタッチし、地域交流の場として「月見の夕べ」にも取り組んできました。

現在、「四季物語」として参画する「寺内町燈路」「後の雛まつり」「鍋めぐり」「雛めぐり」に「月見の夕べ」を加え5つのイベントに取り組んでいます。

今後のイベントを企画する上で、他のイベント等、良い案があれば、じないまち交流館まで案をお寄せください。ご多忙な折とは存じますが、ご協力方よろしくお願いたします。

(企画事業部会)

広報部会

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 中井隆洋 |
| 副委員長 | 岡田孝治 |
| 委員 | 和田幸雄 |
| 委員 | 柳本恵三 |
| 委員 | 田中新之助 |
| 委員 | 尾谷正隆 |
| 委員 | 田中正實 |

(順不同)

編集雑感

私は、昭和15年11月1日に富田林市南会所町で生まれました。大学を卒業した昭和39年4月からコンピュータ関係の仕事をして大阪に帰ってからも堺市に12年間も住んでいました。現在の富田林市に引っ越して来たのは平成7年で阪神大震災の年でした。

ゴルフと釣りが好きで、昔子供の頃によく行った近くの石川に釣りに出かけています。

最近の川原を見ていて特に感じること、①河床が土砂で高くなつたこと ②工場排水や家庭汚水が流れ込む様になった事(最近では少なくなつたかもしれませんが) ③川岸がコンクリートで固められたこと ④清流に住む魚が全くとなくなること 等があります。

子供の頃の遊び場であった川では「アユ」「ウナギ」「モロコ」「メダカ」「オイカワ」「手ナガエビ」「シマドジョウ」「モクズガニ」「タガメ」「ミズスマシ」等の清流に住む魚などが綺麗に澄んだ水中で泳いでいるのを見ることができました。水中メガネを持つ「ヤス」を持って川に入り魚を捕る事もできました。

しかし、最近の川で見かける魚と言えは「コイ」「ナマズ」位なものです。川の状況も人間社会と同様で「清流」を好む「人」がリストラなどで淘汰され「濁流」に強い「人」が生き残るようになっていきます。また、川岸を見ますと、水を浄化させる機能を持つと言われている「葦」がほとんど見られなくなり、人工的に美化された「コンクリート」で固められています。自然が作った美しさがなくなり、無味乾燥な風景になっていくように思われます。

人間に必要なものを(例えば、水)効果的な方法(例えば、河川に垂れ流す前に処理で処置を行い、自然との調和を計ることが大切ではと考える今日このごろです。

(南会所町 田中新之助)